

川平地区 社協だより

第 9 4 号

令和8年3月1日発行



川平地区社会福祉協議会
発行責任者 会長 菅沼 勇
編集 広報部

《会長挨拶》

令和7年度を振り返って

会長 菅沼 勇

川平地域でも高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や、介護と仕事の両立に悩むご家庭が増えています。身近な地域の中で、孤独や不安を感じながら暮らしておられる方が少なくありません。

こうした状況の中で、自分の立場や状況を見つめ直し、無理をせず、身の丈に合った暮らしを大切にする「進退有度」の考え方の大切さを改めて感じています。

令和7年度には仙台市高齢企画課の担当箇所を迎えて「人生会議とエンディングノート（終活）」をテーマに研修会を行いました。令和8年は、終活をより身近なものとして考え、行動につなげる機会をつくってまいります。

今後も地域の包括支援センターや医療機関、介護事業施設と連携し、「つながる活動」「お互いに思いやり、そして支え合う」ことができるよう粘り強く、続けてまいります。

《各種活動の支援》

～ 子育てサロン かわだいラッコ ～

7月25日 保健師さんがやってきました！



川平地区担当の庄子 東希保健師さんが来てくださいました。

参加者はボランティアさんも含めて10名でした。

子育てのことや育休復帰後のことなどいろいろなお話しをして、楽しく和やかに過ごしました。

また、健診で使う体重計と身長計を持ってきてくださり、身体計測を行いました。

お子様が前回よりも大きくなっていることをお母様からお聞きし、みんなで喜びました。



12月26日 シールで遊ぼう！

新聞紙で作ったバッグにシールをたくさん貼りました。参加者は12名でした。好きなシールを選んで、ペタペタと貼っていきました。

大きなシールは自分ではがしてペタ。ちょっと大変な時はママやボランティアさんにお手伝いしてもらってペタペタ。楽しくかわいいバッグになりました。

おままごとのお野菜を入れてお買い物ごっこをして遊び、最後はお土産のお菓子を入れてお持ち帰りして頂きました。



～ 各町内会の「いきいきサロン」 ～

◎ 川平団地福祉友の会 活動報告 ～ 【川平団地町内会】



川平団地福祉友の会の令和7年度いきいきサロンの活動は、計5回開催しました。最終回は2月3日節分の日に、恒例の「恵方巻100本プレゼント」を実施しました。当日は、お越しいただいた皆様とお顔を合わせ、近況などお伺いしながら、今年一年穏やかに、健やかに過ごせるように恵方巻をお渡ししました。

また、第2回落語会開催にあたり、例年と異なり「東北大学落語研究会」の方々（大学2年生）をお招きし、落語を披露していただきました（参加者61名）。いきいきとした元気な話芸で、参加者の笑いを誘っておりました。

来年度も、工夫を凝らし、笑顔で楽しめる「いきいきサロン」を開催したいと思っております。

◎ いきいきサロン「ふれあい広場♪」 ～ 【西勝山町内会】



本年度は「ふれあい広場～クリスマス会～」と題し、普段のサロン活動に育成会の協力も頂き、高齢者と子供達の交流を深める会を2年ぶりに開催しました。じゃんけん列車で参加者達の緊張を解き、子供たちが興味を持ったディスコンを参加者全員にルールを覚えてもらい、混合チームで楽しみました。

体を動かしたあとは、お菓子を食べながらおしゃべりを楽しんだり、クイズ大会で一喜一憂したりとても和やかな雰囲気でした。

最後にはプレゼントを貰い、そのお返しに子供たちが「キセキ」を歌ってくれてとても素敵なクリスマス会になったと思います。今後も色々な企画を考えていきたいと思っています。

◎ 中山北部福祉の会 活動報告 ～ 【中山北部町内会】



中山北部町内会は、坂の町ですが景観はバツグンで、晴れた日は太平洋まで望めます。町内会関連団体である中山北部福祉の会は、小地域福祉ネットワーク活動に基づいて活動しています。高齢となられた皆様は家庭に閉じこもりがち…。時には集会所に集い、情報交換等々できたらと思い、マスクを渡し感染対策を行いながら、令和7年度サロンを6回実施しました。

①救急急に関する講話②マンドリン&ギターコンサート③身近な防犯対策・特殊詐欺の種類について④桜ヶ丘クリニック福島先生の講話⑤シャンソンを楽しむ会⑥落語を楽しむ会など毎回参加者の方々に喜んでいただきました。お弁当に小鉢・味噌汁・デザート等、一緒に昼食をとり歓談しました。

令和8年度も趣向を凝らして参加者の方々に喜んでいただけるよう活動していく予定です。

◎ 杉崎町内会福祉友の会 活動状況 ～ 【杉崎町内会】



杉崎町内会では「いきいきサロン」を毎年6回開催することにしております。写真は第5回を12月15日に33名参加のもと「みんなで歌うクリスマス会」と銘打って開催したときのものです。

クリスマスツリーを飾り、美味しいケーキを食べながら、クリスマスソングや懐メロをみんなで歌い、楽しいクリスマス会となりました。

サロン活動は毎回工夫を凝らして、「ヘルスケアの講習」「敬老の祝い」「ひな祭り」「フラワーアレンジメント」等を行っています。

体を動かす、声を出して歌う、毎回スタッフ手作りの一品添えた昼食等を挟んで約2時間充実した時間を過ごしております。毎回30人超が参加し何時も盛会です。



川平わかば町内会は12/21(日)「クリスマス会&サロン会」を開催しました。クリスマスプレゼントの抽選会や通信カラオケ、軽食のバイキングを用意し大人も子供も楽しめるイベントにしました。抽選会の景品は大小のクリスマスお菓子の詰め合わせセットでした。バイキングにはクリスマスならではのチキンフライやフレーズのプチケーキもあり大変喜んでいただけました。同時刻に班長会として各班長への回覧等の配布を行い、別々で開催する際の役員の

負担軽減も考えました。

班長の方々もお菓子を食べたり抽選会に参加したりと笑顔あふれるイベントとなりました。

～ 令和7年度 各種会費・活動資金・募金の御礼報告 ～

社協会費御礼報告

本年度もご協力いただきありがとうございました。

社会福祉協議会(社協)とは？

地域福祉の推進を図ることを目的とした社会福祉法人です。『一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり』を基本理念とし、地区社会福祉協議会や町内会、福祉団体・施設、ボランティアの協力をいただきながら、行政機関等と連携してさまざまな福祉事業を進めています。〈仙台市社会福祉協議会会員加入のお願いの抜粋〉

区 域 名	特別賛助会費		普通会費		会費合計額	担当理事
	人数	金 額	人 数	金 額		
川平団地町内会	3名	3,000円	715名	182,950円	185,950円	近藤 淳
西勝山町内会	1名	1,000円	623名	184,900円	185,900円	山本 卓子
中山北部町内会	1名	1,000円	489名	146,800円	147,800円	今 優 也
杉崎町内会	0	0	235名	70,500円	70,500円	加藤 真理子
川平わかば町内会	9名	11,000円	118名	39,100円	50,100円	大橋 れい子
合 計	14名	16,000円	2,180名	624,250円	640,250円	

(問合せ先：経理部 阿部 幸子)

日赤活動資金(会費)御礼報告

本年度も赤十字活動資金(会費)募金活動にご協力いただきありがとうございました。

赤十字の活動は、赤十字の人道的な活動に賛同していただいた皆様からお寄せいただく活動資金(会費)により成り立っています。

区 域 名	人 数	会費合計額	奉仕員氏名
川平団地町内会	734名	259,800円	近藤 淳
西勝山町内会	641名	292,900円	山本 卓子
中山北部町内会	485名	243,200円	今 優 也
杉 崎 町 内 会	238名	118,900円	加藤 真理子
川平わかば町内会	149名	54,950円	大橋 れい子
5 地 域	2,247名	969,750円	

(問合せ先：経理部 阿部 幸子)

共同募金(赤い羽根)納入御礼報告

本年度も募金活動にご協力いただきありがとうございました。

区 域 名	募 金 合 計 額	担 当 理 事
川平団地町内会	130,660円	近藤 淳
西勝山町内会	290,500円	山本 卓子
中山北部町内会	110,200円	今 優 也
杉 崎 町 内 会	68,248円	加藤 真理子
川平わかば町内会	46,810円	大橋 れい子
合 計	646,418円	

(問合せ先：経理部 阿部 幸子)

～ 各 種 研 修 の 実 施 ～

福祉活動研修会



令和福祉活動研修会を、令和7年7月13日(日)に開催しました。仙台市では新たに「終活条例」が制定されたことから、仙台市健康福祉局保険高齢部高齢企画課企画係 主幹の鈴木勝昭氏を講師に迎え、「仙台市の『終活』の取組み」について研修を行いました。

少子高齢化が進む中、家族がいない、あるいは家族がいても頼れない身寄りのない一人暮らしの高齢者が増えています。川平地域でも、高齢単独世帯で火災が発生し、死亡に至る痛ましい事故があり、身寄りのない高齢世帯の事後対応や生前整理の重要性を改めて痛感しました。

今回の研修を通じて、「終活」を住民に広く浸透させ、不安の軽減や周囲への「気づいてつなぐ」取組みへの理解を深めることができました。

赤十字奉仕団基礎研修会



令和7年11月16日(日)、川平コミュニティーセンターにおいて、日赤宮城県支部から3名の講師をお迎えして、最初に「災害時における赤十字活動」と題した講話を受講後「読み物による過去の災害の追体験」の講習を受けました。

講話では、医療救護、被災者の心のケア、救援物資の備蓄と配分、義援金の受付から交付、赤十字防災・災害ボランティアの活動と支援の幅広い活動の紹介がありました。講習はチームに分かれて、阪神淡

路大震災の「発生直後」と「避難所生活」について討議と発表を行いました。

参加者の皆さんは、東日本大震災を体験していることもあり、講話の質疑や講習における発表も具体的で有意義な研修になりました。

◇◇◇◇ 編 集 後 記 ◇◇◇◇

令和7年9月21日の川平コミュニティーセンター祭りに社協コーナーを開設させていただき「赤い羽根共同募金箱」を置きました。温かい募金を8,258円いただきました。スタッフの笑顔がとても印象的でした。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。